

領域開拓プログラム(研究テーマ公募型研究テーマ)

◆課題: 「認知科学的転回」とアイデンティティの変容

◆研究テーマ: アイデンティティの内的多元性:哲学と経験科学の協同による実証研究の展開

研究期間: H29.10~H32.9

委託費総額: 13,163千円

<研究代表者>

竹澤正哲: 北海道大学大学院文学研究科/准教授



<専門分野>

社会心理学・進化社会科学

<Webページ>

<http://lynx.let.hokudai.ac.jp/~takezawa/>

<研究計画の特徴>

哲学者が実証研究者と共に、仮説構築・実験デザイン立案のプロセスに参画する



経験科学の実証的精神と哲学の豊穡な知が融合した新たな研究のあり方を示す

<研究目的・概要>

自己、意識、間主観性などの概念が、実証科学の対象となった現代。だが哲学の豊穡な議論を実証科学と融合させる試みは少ない



社会神経科学の自己・他者認識に関する知見と、現象学の自己の多元性(Einfühlung)の類似性に着目し、新たな仮説群や実験デザインを提案

fMRI実験、進化的シミュレーション、行動経済実験を通して新たな仮説群を検証



哲学と科学が融合した新たな研究のロールモデルを提案する

<目標とする研究成果>

(1) fMRI実験、行動経済実験の実施

- 受動的・先反省的に生じる自他の重なり合い (Husserl, 1973) の神経基盤
- 異時点間選択の複数自己モデルと自己共同化 (Husserl, 1973)

(2) 進化ゲームシミュレーションの実施

自他の重なり合いという心の性質が持つ適応価

<将来展望>

構成論的発達科学や運動神経科学と連携し、自他分離過程や自己感覚に研究の視座を広げる